平成24年9月28日

各 位

上場会社名　富士古河Ｅ＆Ｃ株式会社
代表者　代表取締役社長 籾井 丈一郎
（コード番号　1775）
問合せ先責任者　取締役経営企画本部長 明石　亨
（TEL　044-548-4500）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年4月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,000	△500	△420	△300	△6.67
今回修正予想(B)	27,400	△160	△90	△100	△2.22
増減額(B-A)	400	340	330	200	
増減率(%)	1.5	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年3月期第2四半期）	22,013	△781	△713	△473	△10.53

平成25年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	△550	△460	△260	△5.78
今回修正予想(B)	24,300	△300	△190	△120	△2.67
増減額(B-A)	300	250	270	140	
増減率(%)	1.3	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年3月期第2四半期）	19,433	△816	△748	△453	△10.08

修正の理由

第2四半期個別業績につきましては、受注が堅調な状況から工事の進捗も計画を上回り、売上高は当初予想を上回る見通しとなりました。利益面でも、プロジェクト管理能力の強化、コストダウンの一層の推進、固定費の削減等により、予想を上回る見込みとなりました。

第2四半期連結業績につきましても、個別業績の影響を受け、売上高・利益とも当初予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、従前の予想数値から修正はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上